

我孫子市消費者の会

お知らせ

2021年9月15日 第47期 No. 6-542

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syuhisyanokai.net/wp/>

皆様お元気でしょうか？新型コロナウイルスは収まらず、緊急事態宣言が9月末まで延長されました。どうぞ気をつけてください。

調べよう！

～マイクロプラスチックはすぐそこに

日時 10月2日(土) 13:30~15:30

会場 アビスタホール

定員 30名(9月16日号の広報)

内容 マイクロプラスチックを生み出さないために、参加者とともに考える講座
小学生以上どなたでも

申込 7105-5292 加藤

主催 我孫子市消費者の会

(先月も書きましたが、近くなりましたので)

10月定例会

10月4日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター8F 和室

千葉県

消費者「フォーラム&金融講演会」

10月13日(水) 13:15~15:40

「消費者市民講座一エシカル消費を学ぶー私たちの行動が未来をつくる」

講師 西村隆男氏(横浜国立大名誉教授)

会場 千葉市文化センター アートホール

我孫子市消費者の会もパネルを展示します。

申込は和田へ。9月末までに。

石けんを使って・・・

「お知らせ7月・8月」と石けんについて書いてきました。それを読んだ会員の鈴木泰子さんから、ご自分の合成洗剤体験が寄せられましたので、許可をいただき転載します。

合成洗剤は身体に悪いという体験談

会員 鈴木泰子

私はもう40年くらい前から、食器洗いは合成洗剤を一切やめて「石けん」一本やりです。

消費者の会のみなさんには今さらという話だと思いますが、私の体験談をお知らせしておきます。

40年くらい前、合成洗剤をやめようと思ったきっかけは、手指に湿疹ができたことです。指の腹に、楊枝の頭ほどの水ぶくれがポツポツと数個できて、つぶすと、水が浸みて痛いなんの。いわゆる主婦湿疹と呼ばれていたものだと思います。指の腹にできるのは、その部分に洗剤が残りやすいからでしょう。

「これはきっと洗剤のせいだ」と思って、合成洗剤から石けんに変えたら、やがて湿疹もできなくなりました。それ以来、一度も主婦湿疹にはなっていません。

ところが、7~8年前に、またそれが復活したのです。母が年をとって、実家に手伝いに帰るようになり、実家にあった合成洗剤を使うようになったのが原因です。

最初は1週間程度の滞在だったので何ともなかったのですが、半月、1カ月と長期にわたって実家で家事をするようになると、またあのピリピリする湿疹が指の腹にできて、おまけに、冬場はお湯を使っても、手にひび切れまでできて血がにじむようになりました(おしんの時代じゃあるまいし...)。

このときは合成洗剤のせいだとはっきり確信したので、いくつかのスーパーを回って、我孫子の

自宅で使っているのと同じ石けんを探しました。幸い、1軒のホームセンターに同じ石けんがあったので、それを使い始めたら、また前と同じように、湿疹もひび切れもきれいに消失したのです。

以前、仕事で皮膚科の先生に取材したときに、自分の主婦湿疹の体験談を話しました。

医師の言うには、私の主婦湿疹の原因は2つ考えられるとのことでした。

1つは、合成洗剤の界面活性剤。これは毒性が強いことが動物実験でもわかっていると。

2つ目は、合成洗剤の中の何かの成分に対するアレルギー。

私の湿疹の原因がどちらなのかはわかりませんが、とにかく石けんに変えたら湿疹も手荒れもきれいさっぱりなくなったのですから、合成洗剤が合わなかったのは事実です。手荒れがひどくていつもハンドクリームを塗っている人には、「食器洗いを石けんに変えてみたら？」とアドバイスしてあげたいくらいです。

食器洗い洗剤は、たとえ微量でも体の中に入ることがあるでしょうから、やはり安全なものを使いたいです。“環境を汚す以前に、合成洗剤は体に悪い”これが私の実感です。

以前にお話した、携帯電話の電磁波による頭痛もそうですが、自分で因果関係に気づくことができるものはまだ救いがあります。

でも、今の世の中、不定愁訴などが起きてても、原因がわからないことも多いですね。

今読んでいる本に書いてありましたが、「現代人は、毎週クレジットカード1枚分のプラスチックを体に取り込んでいる」のだそうです。ぞっとします。それが人の体にどんな悪影響を与えるか——それが解明されるのは、はるか先のことでしょね。消費者の会の会報にいつも感謝しています。～ ～ ～ ～ ～

改良したと言われている今の台所合成洗剤もダメだと良くわかりました。

高齢社会への対応を探る会 イベント

日時 10月9日(土) 13:30～15:40

テーマ 「地域で取り組もう！フレイル予防」

先月チラシ配布済み。是非お出かけください。

市民活動団体の紹介(8)

あびこ女性会議 代表 佐竹 礼子

あびこ女性会議は1996年(平成8年)10月の発足から25年となる市民グループです。女性であれ男性であれ、誰もが「男だから」、「女だから」といった社会的に作られた性別(ジェンダー)から来る役割分担を押し付けられたり、偏見や差別、不平等を受けたりすることなく、自分らしく生きられる社会の実現を目指すというのが、私たちの活動の目的です。

今回のオリンピックでジェンダー平等の問題は注目を集めました。世界が目指す共通の目標であると認識されたと同時に、日本はまだまだ進んでいないと思われた方も多かったのではないのでしょうか。

この問題は人々の意識や活動、生活のあらゆる場面に関わるもので、そのため私たちの活動内容も、政治、職業、教育、女性・男性の生き方、育児、介護、家事、など広範囲に目を向けたものになっています。

会員は現在13人ですが、若い世代を含め多くの方を巻き込んだ活動をしたいと思っています。

主な活動としては、月1回の学習会・定例会(毎月第一木曜日午後1時30分～、市民活動ステーション内)です。ここは、会員が学ぶ場であり、活動内容などについて話し合う場でもあります。また、「あびこ女性会議ニュース」という情報紙を年、1.2回発行し、公共施設などに配布しています。

そして、最大の活動は毎年1回開催している我孫子市との共催イベントです。今年度は12月4日に、「選択的夫婦別姓」をテーマに講演会を開催する予定で準備を進めています。まもなく詳細をお知らせできると思いますので、どうぞご参加ください。